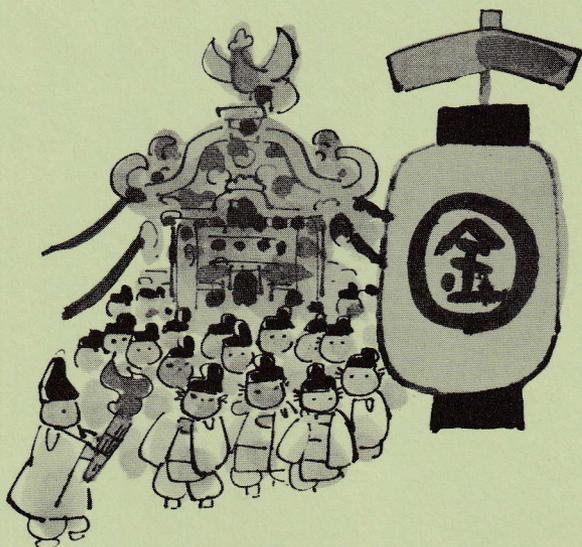


JARL

香川クラブ報

(創立 30 周年記念号)

№180 昭和54年 2月15日



J A 5 Y D E

社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

JARL 香川クラブ30年あゆみ

- 昭23年10月 香川クラブ結成 初代会長 岡本良雄氏就任
NHK高松放送局に20余名参集<大塚(JA5AF),太田(JA5AG)
山下(JA5AI),岡本(exJ4EA),梶,石川,北谷氏等>結成す。
24. 春 受信機製作コンクール実施?(提出しない者には罰金百円!)
25. 春 2代目会長 JA5AG 太田等 氏
26. 国試 第1回目(JA5AD),第2回目(JA5AF,CP)実施
27. 国試 第3回目(JA5AA,AB,AG)実施
- 〃. 10 JA5AA,AB,AF,AD,AG本免
JARL四国支部結成へ(JA5AB宅に5名集まる)
30. 8 小豆島へ1泊ミーティングに(米は各自持参)
35. 7 3代目会長 JA5AL 平田 正幸 氏
- 〃. 10 クラブ創立10周年記念
34. 4 4代目会長 JA5AG 太田 等 氏
35. 1 JARL認定制度開始
36. 1 クラブ員80名を越すため分離し,中讃地区に白扇クラブ誕生
〃. 〃 ハム大学講座開講(4月期国試準備のため2カ月間)
- 〃. 3 JARL四国支部大会 高松市で開催
- 〃. 4 36年度四国支部事務を香川クラブで担当
- 〃. 〃 日赤香川県支部無線室にJA5RL開設
- 〃. 〃 香川県初のYLさんクラブより2名国試に合格
- 〃. 〃 クラブ初の公開実験実施(日赤センターを本部に)
- 〃. 〃 東讃地区に讃岐クラブを分離誕生させる
- 〃. 〃 アマ局にオールバンド開放
- 〃. 5 クラブQSO用に50.5MHz使用決定
- 〃. 7 夏期ハム大学を開講(10月期国試準備のため2カ月間)
37. 4 会費改正(年間 局長200円,SWL150円)
- 〃. 6 高松の空に初の144MHz(FM,AM)の波出る!(JA5FI~CH)

- 昭37年 7月 ハム再開10周年記念 (JA5でJA5AA, AG本部表彰)
- 〃 . 9 クラブ初の非常通信訓練実施 (50, 3.5MHz使用)
- 38 . 3 JARL四国支部大会 高松市で開催
- 〃 . 4 クラブ創立15周年記念 記念コンテスト実施, 記念品配付
- 〃 . 〃 38年度予算 11,795円也
- 〃 . 5 144MHz電波 海を渡る (JA5FI~JA4ASS間)
- 〃 . 〃 クラブチャンネルに145.00MHz決定
- 〃 . 12 年忘れQSOパーティ実施
- 39 . 4 39年度予算 13,105円也
- 〃 . 5 技術講習会開催 (トリオ後援)
- 〃 . 7 香川県非常無線通信協議会に加盟
- 〃 . 8 四国で初の臨時国家試験 高松市で実施
(電話級 受験者184名, 合格者98名)
- 〃 . 〃 JA5FT局 SSB運用開始 (クラブ初)
- 〃 . 12 第1回クラブ年越コンテスト実施
- 40 . 4 40年度予算 19,985円也
- 〃 . 6 電波の日 移動公開実験実施
- 〃 . 7 144MHzによる県内電波伝はん実験実施
- 〃 . 12 第2回クラブ年越コンテスト
- 41 . 4 41年度予算 26,022円也
- 〃 . 6 徳島クラブと合同ミーティング 県境にモービルで40名参加
- 〃 . 12 第3回クラブ年越コンテスト
- 42 . 4 42年度予算 36,722円也
- 〃 . 6 電波の日 クラブ員放送電波にのる
- 〃 . 7 四国で初の養成講習会 高松市で実施 (クラブ協力で)
- 〃 . 〃 クラブ局 JA5YDE 開局運用
- 〃 . 10 香川クラブ NHKテレビに出演
- 〃 . 12 第4回クラブ年越コンテスト
- 43 . 4 クラブ創立20周年記念行事 アワードの発行 (SETO賞,
WAO/MM賞), 第1回アクティブコンテスト実施

- 昭43年 4月 43年度予算 63,985円也
- 〃 . 12 初の電信級移行選抜テスト実施 (受験者44名, 合格者40名)
- 〃 . 〃 第5回クラブ年越コンテスト
- 44 . 1 初の電信級移行講習会実施 (高松市)
- 〃 . 2 JA5FI 430MHzテレビ開局 (オール自作!)
- 〃 . 3 SSB技術講習会 (トリオ後援)
- 〃 . 〃 JARI, 四国支部大会 高松市で開催
支部事務をクラブで担当
- 〃 . 4 44年度予算 85,136円也
会費改正 (年間, 局長300円, SWL200円)
- 〃 . 〃 5代目会長 JA5AB 田中 実 氏
- 〃 . 〃 JA5AG 太田氏を名誉会長にすいせん
- 〃 . 〃 第2回アクティブテイコンテスト実施 (年間コンテスト)
- 〃 . 12 第6回クラブ年越コンテスト
- 45 . 4 45年度予算 44,937円也
- 〃 . 〃 第3回アクティブテイコンテスト (年間)
- 〃 . 6 クラブ RNCテレビに出演
- 46 . 4 46年度予算 62,260円也
- 〃 . 〃 6代目会長 JA5AG 太田 氏
- 〃 . 7 電話級養成講習会 高松市で実施
- 〃 . 12 第7回クラブ年越コンテスト
- 47 . 4 47年度予算 54,511円也
- 〃 . 〃 第7代目会長 稲毛 章 氏
- 〃 . 〃 第4回アクティブテイコンテスト (年間)
- 〃 . 7 ハム再開20周年記念 (JA5AF, MG 連盟表彰)
- 〃 . 8 JARI 香川県支部発足 香川クラブ事務局担当
- 〃 . 11 県支部長に JA5AG 太田氏 就任
- 〃 . 12 ハム再開20周年記念パーティ開催
- 〃 . 〃 第8回クラブ年越コンテスト
- 48 . 1 香川県アマチュア無線赤十字奉仕団結成

- 昭48年 2月 クラブチャンネル 145.08MHzに変更
- 〃 . 4 会費改正 (年間・局長500円, SWL350円)
- 〃 . 7 クラブ創立25周年記念コンテスト実施 (全国的にCW, FONEで)
- 〃 . 〃 香川クラブ. ミーティング NSBラジオで放送
- 〃 . 8 電話級養成講習会 高松市で実施
- 〃 . 12 クラブ創立25周年 記念クラブ報 第150号発行
- 〃 . 〃 記念品配付
- 〃 . 〃 県支部主催 第1回香川マラソンコンテスト実施, クラブ員多数入賞
49. 4 49年度クラブ予算 74,267円也
- 〃 . 6 クラブ会長 JA5MG 電波の日に監理局長表彰
- 〃 . 8 電話級短縮講習会開催 (クラブ協力)
- 〃 . 10 第1回FOXハンティング開催
50. 5 鷲羽山で児島・倉敷クラブと合同ミーティング
- 〃 . 9 第2回FOXハンティング開催
51. 1 電話級短縮講習会クラブ協力で開催
- 〃 . 3 2m技術講習会開催 (ナロー化, 他)
- 〃 . 4 51年度予算は94,577円也に
- 〃 . 〃 会費値上げ! 年間1,000円に
- 〃 . 6 クラブよりNHKTVにて放送
- 〃 . 7 ジャンク市盛大に開催
- 〃 . 〃 香川県総合防災訓練に参加
52. 3 第3回FOXハンティング開催
- 〃 . 4 県支部主催ソフトボール大会に参加
- 〃 . 5 倉敷クラブと五色台で合同ミーティング開催
- 〃 . 11 2m技術講習会開催
- 〃 . 12 恒例の忘年会盛大に開催
53. 5 倉敷クラブと倉敷市で合同ミーティング
- 〃 . 7 クラブ創立30周年記念コンテスト実施
- 〃 . 10 創立30周年記念QSL作成
- クラブお揃いのユニホームも完成

昭53年12月 香川マラソンコンテスト今年も盛大に実施。クラブ員多数入賞
54. 2 30周年記念誌の発行

(こゝ数年の年間行事)

- 4月 県支部ソフトボール大会に参加
 - 5月 合同ミーティング (各クラブと)
 - 7月, 9月 定例ミーティング
 - 8月 フィールドミーティング (キャンプ)
 - 11月 フィールドミーティング (ハイキング)
 - 12月 忘年会
 - 3月 通常総会
- 他にFOXハント, 技術講習会, クラブ報発行 (年6回), 賞状 (SETO賞, WAO/MM賞) 発行,
会費は年間1,000円 (家族500円)

歴代クラブ会長

初代 (昭23年)	exJ4EA	岡本良雄氏
2" (昭25年)	JA5AG	太田等氏
3" (昭33年)	JA5AL	平田正幸氏
4" (昭34年)	JA5AG	太田等氏
5" (昭44年)	JA5AB	田中実氏
6" (昭46年)	JA5AG	太田等氏
7" (昭47年)	JA5MG	稲毛章氏

クラブ創立30周年記念にあたり

J A R L 香川クラブ

会長 J A 5 M G 稲毛 章

昭和23年秋、現J A R L副会長大塚氏（J A 5 A F）、香川県支部長太田氏（J A 5 A G）等20余名がNHK高松放送局に寄り集まりわが香川クラブを結成して以来、本年度で創立30周年を迎えることになりました。

この長きにわたり、数々の歴史と実績を代々のOM達が残してこられ、その内容は記念誌の頭初に掲げた通りであり、真に立派なことばかりであります。

過去における役員を初めクラブ員諸氏の苦勞は並大抵のことではなかったものと想像いたします。例えば、クラブ報にしても創刊号以来、休むことなく発行され、年によっては毎月発行されていた時もあるのです。手書き時代も長かったですが、今日では編集者の大奉仕により活字印刷のものが発行されており今回の記念号でちょうど180号にもなります。

全国に数あるクラブの中でも、古い伝統ともつわがクラブを、会員の皆さんと共に協力して、これからの世代にマッチしたより良い香川クラブに発展させなければなりません。

過去30年間は歴史ある年月でありましたが、これから10年先、20年先のわがクラブを考えてみた時、想像もつかないような発展ぶりをみせ、アマチュア局の楽しみ方も大きく変っているのではないのでしょうか。

会員皆さんの益々のご発展とご活躍を祈りまた、J A R Lの発展を願う次第です。

最後に、ご多忙の中を、わざわざ当クラブ創立30周年記念に当り、寄稿くださったJ A R L会長を初め、井原理事、各OM諸氏に厚くお礼申し上げます。

J A R L 香川クラブ

創立30周年記念に寄せる

社団法人 日本アマチュア無線連盟

会長 原 昌 三 (JA1AN)

J A R L 香川クラブは、昭和23年結成以来、J A 5における有力なクラブとして発展され、ここに創立30周年を迎えましたことは、誠にご同慶にたえません。

結成当時は、終戦直後であり、たとえアマチュア無線を愛するとはいえ、クラブの結成と運営に尽力された関係者の負担は、誠に大きかったと思ひ、歴代役員各位ならびに会員各位の一致団結が今日をあらしめたものと、ご努力に敬意を表するものであります。

昭和27年にアマチュア無線の再開をみましたのは、皆様方の努力とその成果として、再開の大きな原動力となったと信じております。

現在、日本のアマチュア局は38万局にのぼり、アメリカに次ぐ世界第2位のアマチュア無線国に発展いたしました。また、日本アマチュア無線連盟も飛躍的な発展をとげました。これらは、ひとえに皆様方のご尽力のたまものであり、深く感謝申し上げます。

今後ともアマチュア無線界の発展のため、または新技術の開発、運用マナーの確立、良き後輩の指導育成等に対しまして、貴クラブの果すべき役割は誠に大きいものと存じます。

貴クラブが、変らざる発展とご活躍を重ねられんことを期待し、クラブ創立30周年と記念クラブ報の発刊にあたり、一言、お礼の言葉にかえさせていただきます。

創立30周年記念によせて

J A R L 理事

J A 4 A 0 井原 達郎

香川クラブの皆さん，創立30周年おめでとうございます。「継続は力なり」と申しますが，アマチュア無線再開以前から，讃岐の地にKing of Hobbiesの旗印を掲げ，今日の隆盛の基を築かれました貴クラブ各位の並み並みならぬ御努力に対して，心からお喜び申し上げます。

創立は昭和23年秋とか。戦後間もない困乱期です。私は，まだ学生でした。当時は，短波受信は自由になったものの，大抵の人はアマチュア無線どころではなく，その日その日の衣食住に追いまわされていた頃です。そんな時，既に今日のようなアマチュア無線の活況を夢見て，有志の方々がクラブを結成され，今日においても尚，香川県におけるアマチュア無線界のリーダー・シップをとって活動を続けておられることに，歴史の重みを感じるとともに畏敬の念を禁じ得ません。

皆様方のような熱心なアマチュア方が各地にがんばっておられたが故に，今日のアマチュア無線の隆盛があり，今日のJ A R Lがあるのだと思います。10万人の会員を擁し年間10億円の予算を持つ大J A R Lも，皆様方の心からの支えがあってこそ存在し得るのです。

今J A R Lは我々の活動に重要なかかわりを持つW A R C - G Ⅱに対して，諸行動をおこしています。それ故に全国のアマチュアの結束と力強い支援が最も必要な時です。30年の歴史を持たれる貴クラブにおかれても，今後ますます活動を充実され，香川県のアマチュアのかなめとしてますます発展されることを期待いたします。

10年後，20年後においても，設立当初の精神が脈々と生きて流れ，貴地方のかなめとして活動し続けておられることを祈っています。

香川クラブ創立当時の思い出

J A R L 副会長

J A 5 A F 大塚 政量

香川クラブが昭和23年10月、NHK高松放送局（当時は寿町に普通の民家くらいの小さい局舎がありました）で創立大会を開いてから30年過ぎました。その頃、私は香川県警本部の通信課の技官として勤めておりました、給料は3,000円（1ヶ月です!!）で替ズボンをひとつ買うと2,500円くらいしておりました。衣食住がやっと中の下程度にできる程度で、受信機ひとつ作るにしても生活にひびく!!ような時代でした。

このような、戦後のきびしい時代から、現在のような時代まで、30年間、クラブ報を出し続けてクラブ会員の連絡に努力して頂いた、代々の香川クラブ役員諸兄に心から敬意を表したいと思えます。当時あるいは現在でも、クラブを作り、クラブ報の創刊号を花々しく出しても、それっきりで次のクラブ報を永久的に出せなかったような線香花火!!的クラブの多い中で、香川クラブは全国的にも例の少ない立派な歴史を持つクラブといえましょう。

昭和23年頃は、21MHzのアマチュアバンドはなく、主として14MHzと7MHzを受信しておりましたが、現在アマチュア局のない中国（BY）には、たくさんアマチュア局があり、14MHzの電話でよく受信できました。O2ABとかO7TKというようなコールサインを使用し、地域によりO1～O9をきめて、自分でコールサインを作り電波を出しているものが多いといったうわさがあり、当時、電波の発射を禁止されていた日本のアマチュアには、うらやましい話でした。このような、まったく自由な中国のアマチュア無線界も2～3年で終り、毛沢東主席を指導者とした共産主義国となると同時に、中国のアマチュア局は姿を消してしまいました。その代りに共産主義国家にありがちな作業服（人民服）を着ない、セビロを着たフルシチョフ氏がソビエト連邦の首相となり、ソビエト連邦のアマチュア局UA局が自由に外国と通信し始め、アジアにおけるアマチュア界も活ばつになってきました。

10年ひと昔いいますが、三むかし!!前、香川クラブ創立当時の思い出とアマチュア無線の状態をのべさせて頂きました。

以上

創立30周年おめでとう

J A R L 香川県支部長

J A 5 A G 太田 等

クラブ創立30周年お目出度う御座います。

同じ趣味を持った者の集りとは良いものですね。それだからこんなに永く続いたのでしょう。

戦後のどさくさの中、又アマチュア無線をやろうじゃないかと集まった20余名で設立したのがJ A R L香川クラブ。以来通算20年ばかり会長をやらせて頂いた思い出を振り返って感無量です。

当初の会員中戦前のコールを持って居た方々は、

J 4 E A 岡本 良雄 氏 J 8 C H 滝川 正己 氏

J 4 D E 大塚 政量 氏 J 4 C L 西山 始 氏

J 8 C L 大西 千秋 氏 (徳島県三好郡)

J 4 C M 太田 等

の以上6名。

S W Lナンバーを持った人も7名いましたが、其のナンバーがJ A 9 - X X。どうしてJ A 9が四国なのか当時J A R Lニュース(C Q誌)を調べても見あたりません、私も忘れましてHi!!

昭和25年当時のクラブ会費は年額600円。少々高いようです。ですから毎月50円集めて居りました。今も昔も会費の徴収には頭を悩ましたものです。

クラブ運営誌

昭和25年10月1日 栗林公園にて野外ミーティング(当時入園料無料)

スランプのため1部より解散の動議が出たが全員にて向上する様努力する

事に決定。出席者 九名。

昭和25年10月29日 会員 木村氏宅にて

集合時間が早かったか、ばらばらでいつからか開会する。本日はまずまず
で意見もかつはつ。クラブ報 №3号も出来たので出席人員は少ないが盛況
の内に終る。出席者 10名

昭和25年12月3日 木村氏宅

集合人員は相変らず少数。意見の発表はあまりなし。

議題は総会の日時(26年1月14日予定)通知並に委員選挙の方法。原
稿送附の件。関西支部ミーティングに出席の件(旅費実費、会費支給)太
田出張と決定。クラブ報 №4号印刷完。出席者 11名

昭和26年1月14日 労働会館にて

総会と云いながら出席率不良。しかし徳島より大西氏の出席をみて話もは
ずむ。議題は会則の一部変更。コンテスト。及び丸亀の新会員のため今後
1ヶ月ごとに丸亀と高松でミーティングを開くこととなる。新委員決定。
クラブ報 №5号印刷完。

以上抜粋してみました。昔も今もやっぱり変わらないようです。

創立30周年記念によせて

阪神クラブ会長

J A 3 S Y 梶本 久一

J A R L香川クラブ会員の皆様，創立30周年をお迎えになり，衷心よりお祝い申し上げます。

このおよろこびは現会員諸兄の固い結束のたまものであることは勿論ですが，戦後の混乱期にアマチュア無線再開のため熱意と希望をもって相集われた先輩先駆者各位とそのこころざしをうけつぎ30年の永きに渉りハムの情熱と友情をつちかわれて来られた方々に敬意を表したいと存じます。

私共のJ A R L阪神クラブも先年やはり30周年を迎えました。故J A 3 B B岡谷氏宅に10名ぐらい参集した第1回目のミーティングの様子は，いまでもあざやかにまぶたのうらに焼きついて居ります。米軍々人のハムが一人ゲストに居られたことは特に印象ぶかいものでした。

当時は連合軍総司令官マッカーサー元帥による軍政下であり，インフレと食糧不足で全国民は生活にあえいで居りました。我々ラジオアマチュアは短波受信が解禁されたので，軍用資材の放出品などでブラック受信機を組立てて，いち早くS W L業務を開始し諸外国のアマチュアの交信や，軍用，業務通信などを傍受しては自分達の電波を出せる日を夢みていたのものでした。今日の日本のアマチュア無線界の隆盛など本当に思いもよらないことでありました。香川クラブの皆様，30年の輝かしい歴史と伝統をいついつまでも伝え続けて頂きたいと思えます。

尚私事ですが，貴クラブ会長の稲毛氏同様私もJ A R L監査長（関西地方）をおおせつかって居りますが，T V Iの申告続出にホトホト……そこで古今（こきん）和歌集の在原業平の作から盗作を一首……

よのなかに絶えてテレビのなかりせば

ハムの心は，のどけからまし

こゝまで書いた時XYLからブレーク！「うちはテレビのおかげで食べてるんでしょ！」
イヤー参った。私はさゝやかなブラウン管工場を営んでいるんです。Hi

JARL 香川クラブ創立30周年に寄せて

JARL 評議員

JA5IQP 合田口 正春

JARL 香川クラブ創立30周年 おめでとうございます。

一口に30年と申しますが、それはそれは長いものです。これを自分の身に置き替えてみると、その実感がひしひしとわきます。と申しますのは、私事で誠に申し訳ございませんが、私は今年の3月に勤続30年を迎え、郵政大臣から永年勤続表彰を受けました。そして過ぎ去った日々をふりかえるとき、あまりにも数々の出来事が思い出され、『枚举にいとまがない』とはこんな時に使う言葉かと感心したものです。

昭和23年3月、戦後間もなくの頃、世情コトントンたる混乱期、何のために戦争をしたのやら、なぜ敗れたのやら充分判断のつきかねる年頃でした。そして10年が経ち、20年が過ぎ、ようやく30年に達したのです。生活に追われ、子育てに追われ、あとで考えてどうしても思い出せない数年があります。それほどに長い年月なのです。

私が開局してまだ7年目、それに比べて30年の何と遠いことか。OMさん方にお聞きしたところ、創立当時は全県下のアマチュア局を擁しており、その後発展に伴い地域単位に分割されたとか、そして今なお各クラブの育成発展に御尽力をされておられる先輩各位には本当に頭の下がる思いです。私が開局してからあとの事しか判りませんが、その状況を見ると、次々と新局が誕生しては消え、またまた新局の誕生と目まぐるしいこの世界。思うにアマチュア無線の世界もやはり人の社会と同様、一人ではやっていけないことを物語っているのではないのでしょうか。およそ人間はそれぞれ相寄りそってこそ生きていけるものなのです。

先般ラジオで聞いたことなのですが、一人の人間が15才まで生きてくる間に250万人の人々のお世話になっているのだそうです。誕生の時の世話から始まって衣・食・住それぞれの職にあたる人達のおかげで人間は生活ができるのです。ただ一人では何もできないのです。

アマチュア無線界においても同様、多くの先駆者のおかげで今日があり、今

もなお多くの人々が相集って新しいルールをつくり運用がスムーズにできるよう努力されているのです。

こうして考えてくるとき、とても一人では末長く続けることが難しいこの世界をどうしてのりきるか。それは前述のとおり相寄ることです。人々は相集いその属するグループの方々のお世話で指導を願い、べんたつを願ってたのしくたくましく生きられるのではないのでしょうか。

このような意味からしてクラブの存在は偉大なものであり、必要欠くべからざるものではないのでしょうか。幸いにして私も伝統あるJARL香川クラブに身を寄せさせて頂いたおかげで今日があるものと感謝しております。また創刊以来クラブ報の発行にたずさわられた各位の御苦勞によって、今日ここに30周年記念号の発行があるもので、その間の御努力に深く感謝するものです。

JARL香川クラブの皆さん、意義深く力強い人生を通すためにも、また時には寄りかけられる大樹とするためにも、クラブを益々発展させられるよう心からお祈り申し上げます。

香川クラブ 創立30周年記念に寄せて

西讃岐アマチュア無線クラブ会長

J A 5 A B Y 片岡 義和

近年の無線界の進歩はめざましく我々ハムも、その技術には仲々ついてゆけなくなりました。私の開局当時は、A₃の全盛期でしたので、全ての局が自作のリグを使っており、自分で作ったTX, RX, ANTで交信の感激を味わえたものです。現在ではA₃も消えSSBかFMへと主流は移り変ってしまい、この流れの中で我々ハムの最も楽しい、最も有意義であった活動をメーカーという怪物に奪われてしまいました。イヤ我々自身が忘れてしまったのかも知れませんが、おかげでこの怪物は増々成長し、その数や種類がふえております。中には凶悪な怪獣も現われその勢力の拡大に手を貸す者も居ることは嘆げかわしい限りです。この現象を「時代の流れ」という言葉だけで片付けてしまっているもの

だろうか。ハムは無線界のパイオニアであったはずですが。かく云う小生のシャックにも怪物の魔の手がのび食い荒らされている現状からすれば、以上のことは私自身の反省とも言えます。

HamとCBのちがいは???この解答は非常にむつかしくなってきました。CBの違法行為を報じるマスコミにアマチュア無線と市民バンドの区別をせよと抗議する前に我々自身の行動を振り返る必要があるのでは……? QSOの内容はほとんど変わらないのではないでしょか? クラブのミーティング等でも技術的な話題, アワードの話題, DXの話題等には花が咲かず, 釣やドライブ, YL, 等全くハムに関係の無い話題に終始し, 酒がないと面白くないというミーティング。何のためにハムをやっているのかと疑いたくなる。もしかすると精神異常者の集まりではないか? 公共の電波を使わせていただいているのを忘れ, 電波を私物化し, ハムとしての最低のマナーもわきまえず動物的感情をむきだしにしてわめきちらす, ゆずりあいの精神も, 理性も全く見受けられない!!これが趣味の王様と言われたHAMなのだろうか?

電信, 電話級の資格を得るために努力したJARLのことも知らずに, 平気な顔をしてJARLのお世話になっていないからと放言して, ハムの世界では常識である約束ごととも理屈をこねまわして守もろうとしない。

このような状態が続けば, いつか必ず我々の先輩達が築いてきたこの素晴らしい世界が奪われてしまいそうだ。一部の異常者のために全体が悪く見られるなんて迷惑千万だがこれが日本の悲しい縮図でもあります。悪夢であって欲しいと願っている一人です。

今後マイクロプロセッサの進歩とともに無線技術は想像もつかないような高度の通信形態を生み出すでしょう。ハム人口も年とともに増加します。限りある電波を有効に利用しなければならないはずですが。ハム界の浄化なんてことは簡単にできるはずはありませんが, その努力を心ある各局長がやらねばならない時期がきています。

ここに地域クラブとして30年間活動された香川クラブに敬意を表するとともに, 今後増々貴クラブの発展をお祈りして, お祝いの言葉にかえさせていただきます。

E U だ よ り

D J Q S I

ドイツ連邦共和国，通称西ドイツ。プリフィクスはDA～DLまで，ハム人口は約3万人，JAの $\frac{1}{10}$ 以下と言うNO QRMの?国です。現に与えられるコールサインは全てサフィクス2文字，それでいてC級（電話級）からA級（2アマ）になった時ほとんどの人が新しいコールをもらっていると言うからいかに少いかお判りいただけるものと思います。

日本人の私から見ると自分も含め皆が大OMに見えてしょうがないのです。

モービルならD J Q S I / M（モービル）であり移動ならD J Q S I / P（ポータブル）なのです。たまにD J Q S I Aと三文字目にAが付くコールを見かけたら，それは第2常置場所よりの運用と思って下さい。

コールサインによるエリアの見分けは困難で，免許を与える電監（通称ポスト，つまりドイツの郵政省はドイツ連邦ポストなのです）の配分文字をサフィクスの第一文字（D J Q S IならS）に付けているだけなので本人がQ S Yしてしまうと判らなくなってしまいます。

日本で聞けるドイツの信号は全て2アマ以上の免許の人です（144 MHz SSBで聞えたら別ですが……）2アマ（クラスA）で無事一年運用すると次年から自動的に1アマ（クラスB）がもらえます。これは空中線電力だけの違いですが。1.8 MHzを除いて包括免許，もちろん免許状と免許証と云う面にはありません。実にアマチュア無線らしい，うらやましい話です。

ドイツ版JARLはDARCと言い，電監の信頼厚くJA5RKB/DLと言う期限付コール（免許）ならここを通して約一週間で下ります。訪独の機にはぜひパスポートのコピーと期限内の免許状のコピーをお送り下さい。コールサインをもらっておきますので。

QSLカードも本人直接では無く所属クラブにDARCより送られて来ます。ローカルクラブに加入出来なければDARC会員にはなれなく，クラブのミー

ティングに出席しなければQ S Lを送る事も受け取る事も出来ない様になっています。当方も毎週金曜のミーティングでのQ S Lを楽しみにしているところです。郊外のレストランの一部をカーテンで仕切りビール一杯にて2~3時間のミーティングをする時、そして大口論している様な会話を聞いている時、ほんとうにドイツに居ると言う実感が湧いてきます。

ハムの試験は受けられても運用は満18才からでないとならないとNG、つまりドイツのハムは全て成人ばかりです。当方の所属クラブF-13 (クラブを表わす番号)も老人クラブ?と言われてっていると聞く香川クラブより平均年齢は高いはずです。(FB)²なYLも居るのですがO²Mも多いのです。

ここらで上流ハムの社交場である2mの事を少し……。144MHz帯はJA同様電話ゴッコ(CBゴッコ)が盛んです。もちろんオスカーに、GW S S B D Xにと言う人も居ます。リピーターと言う無人中継所が全西ドイツをカバーしている為1W出力のモバイルからリピーターを使って50Km範囲なら59⁺にてQ S Oが可能となっています。この局は入力145.00~145.225出力は145.600~145.825の25MHz帯でパルスレシーションでリレーフランクフルト(ドイツではリピーターの事をリレーと言う)はチャンネル6、つまり入力145.150、出力145.750MHzとなっており、垂直、水平の両偏波をうまく分けて使用しています。

ムロンこれらの局はオスカー程ではないがロケーションが抜群に良いので、ここフランクフルト近辺より3局のリピーターが使用出来モバイル10W出力にて60Km先のモバイルト59/59でQ S Oが出来ます。

今もサイドのTS-700G (TS-700G IIのヨーロッパタイプ)よりツェークーツェークーと聞えています。何故かシーキューではなくツェークーなのです。

ドイツ語がNGな当方にとってはよく21MHzでC Q D Xを出しているJA局の様に長いC Qを出してもらわないとコールサインが確認出来ません(この例は良くないかも知れません。C Q D Xは長くはっきりとしていても、自局

のコールサインは短く一回では分かりませんから……) ちなみに私のコールサインは デーヨットノルエスイー と言うしだい、でヨットに乗る? エッ? イイ? と言うわけですHi!

高松の14MHzを一人で占領した罰か(と言っても断じて占有帯域幅が広過ぎたのでは無く、いっしょに^{ザコ}珍カントリーをコールするローカル局に恵まれ? なかっただけと本人信じているが) 気候温暖, 人情, YL共にVYFBな高松をQSYするはめとなり当地西ドイツの片田舎にQTHを定めました。これも何かの罪ほろぼし 一人でも多くのOM, OGの方々にヨーロッパを身近に感じていただくため独断と偏見に満ちたペンを走らせたしだいです。

では又会う日まで

Auf Wiedersehen

55 & 73 / 88

(註) DJQSIことJA5RKB 杉山氏よりクラブ報に原稿が到着しました。

アクティブにオンエアしていますので聞えたら呼んで下さい。当分は彼の地に居るとの事です。香川クラブ各局とラグチューしたくてほとんど毎日出ている様子ですが数局と交信したのみです。

4U1ITUで運用したり色々と活躍しているようですが5のコールはなかなか聞えないようです。数が少ないのかも……

当時を回顧して

J A 5 A H M 天野 英弘

公開実験見聞録

電波の日を記念して、6月2日に公開実験を盛大に開催しました。

当日の目的の1つは、一般の人々に対するPRと同時に、VHFにおける電波伝播を究明するのにあります。

センターを三越屋上、移動局として自動車、宇高国道フェリー（宇野ではJA4のOM方の援助）と、たまたま開催中の香川大学学生祭移動中のJA4BEF局との協力により行われました。

当日は日曜日でもあり、センターにはJA5AG会長はじめ、各OM諸氏の顔も見られ、またアマチュア局の紹介、世界各国の珍しいQSLカードに見入る一般客の多いのが目につき、PR効果も上々と思われる盛況でした。

しかし、通信結果においては私たちの想像をはるかに下回る結果になったと思います。というのは、一般公開に先がけての私たちの不熱心の結果、機械の整備不十分が大きな原因の1つと考えられ、次回公開実験の良き反省材料として生かして行きたいと思えます。

船上より

「こちらはJA5△△、只今定刻出帆しました。これより約2時間、海上よりお相手いたします。」との迷句で始まった公開実験、まずまずのできばえだったと思います。

VHFはたしかにFBだと思いますが、島の多い内海のこと故、高松を出て20分位はQSOでき、その後宇野港へ着くまで全然だめでした。宇野港でQSOできたときの一同の今も忘れることのできない顔、顔、顔。それまでANTを360度廻したと、ヤケにどなったこと、心配になったことetc……一度に忘れてしまいました。

船の一番高い所に乗せられて少々あがっていたのかもしれませんが、一同よくしゃべりがんばりました。

自動車隊

J A 5 A Gの車を借用して10時過ぎ出発、市内をドライブした。市街地へでて麦畑をながめながら屋島へ、電波伝播がF Bなので、パトカーで走っているような錯覚に落ちいることもあり、又タクシーの運転手のような気持にもなった。とくかく移動局のダイゴ味を充分味わうことができた。新田の療養所あたりでは基地局のV O I C Eはよく聞えたが、こちらの声は聞えなかったらしい。

午後、郷東川へ出て船とのQ S Oを試みたがN O I S Eに悩まされ無念の涙をのんだ。

もう一度、事前に充分打合せや調整をして行いたいと思う。

香川大学移動

H Fで「三越屋上のJ A 5 △△, J A 5 △△, こちらはJ A 5 ※※, 香川大学学生祭移動中, 貴局のR S 5 9」と言いたいところだが何も受信できない。おかしいなあ, と思いV H Fで連絡してみると「只今, 修理中」とのこと, 早速アマチュア無線修理公開実中だな」と言ってやったら, まわりの人が笑っていた。

香大では前日から公開実験中のJ A 4 B E P, J A 5 B J Gの両君が小生を迎えてくれた。さて肝心のロケーションが学生祭会場より大分離れているためお客はバラバラ。たまに来れば, バックで, 実習で作った「ママレード」等を買いに来る人ばかり。しかし前日までは大勢の人が来ていたようです。やはりY L さんかY B でなければだめようですH i。

バックで展示用の果物, ジュース, 肉の罐詰が山盛り。2つ3つQ S Yしてくれないかと横目でにらみながら15時頃までQ S O。

今まで各学校の公開実験荒し(?)に行ったが、どこも会場より離れているのであまりPRにならないようだ。お天気がよければ正門かまたは人の流れの多い所(当り前かな)を考えるべきであると思う。

(以上 香川クラブ報 1963.6.15. 頁93 より)

15年前の公開実験を今の時点で考えると、幼稚だったなあとと思うより、むしろ新しいものへ挑戦する熱意にあふれ、時代の先端を突き進んでいったクラブ員のファイトが感ぜられます。

自動車も今のように多くなく、クラブ員で自動車をもっていたものはほとんどなかったようです。まして、モービルハムというのは稀少価値があり、優越感にひたっていたようです。

VHFはメーカー製のリグもなく、すべて真空管式で、自作したり、あるいは、タクシー機を改造して運用したものでした。移動局はパイプレータ式のDC-DCコンバーターを使用し、バッテリーを気にしながら実験をしました。

海上移動にも重いバッテリーを船に持込み、大きなリグを積込むのは大変な作業でした。それでいて使用周波数は145.00MHzの水晶1個の固定チャンネル。(その後2年ぐらいして144.48MHzの水晶をクラブでまとめて購入し、やっと2チャンネルが一般的なものとなった。)

しかし、当時香川クラブ員52名のうち約20局は145MHzの実験を行っていたようです。

1963~1964年頃のJA5管内の新設局を調べても145MHzの免許を取得したものはこの2年間で2~3局程度しかいませんでした。

1964年1月10日発行の四国支部報 頁106~107号に「香川クラブでは近々モービル局が出現する」と報じていましたが、すでにこの半年も前にモービルの公開実験を行っていたということでも、先進クラブということがいえると思います。これは香川クラブ員の技術水準が相当高かったもので、今後

のクラブ運営に当っても、30年の伝統を生かし、技術向上はもちろんのこと
 クラブ員相互の親睦をはかり、社会の発展のためにお互に努力しなければなら
 ないと思います。

昭和38年(1963年)6月3日

月曜日

日刊(除休)



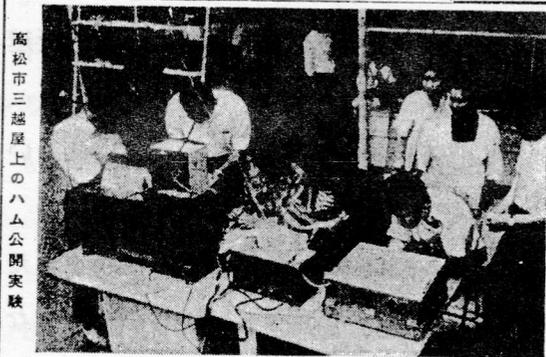
発行所
 山陽新聞社
 岡山市下石井三六〇番地
 電話(代表)岡山(2)5811
 振替貯金 口座岡山5270
 ©山陽新聞社 1963

非常時にはお役に

アマ無線 交信公開テスト

「無線の日」を記念し、日本アマチュア無線連盟(日本アマ無線連盟)主催の「アマ無線交信公開テスト」が、6月2日(日)午後10時から、高松市内の三福屋にて行われた。このテストは、非常時の交信公開テストとして、市内に無線機を備えた自動車を持つアマチュア無線愛好者約100名が参加し、無線機をもち込み、交信した。その結果は、非常によく、本日も「これでは非常時にはお役にたてる」と好評であった。

なおこのテストには、食料約1000人が参加し、午後三時半まで、公開実験を続け、おりが日曜日のテストにくり返した人の話も集めていた。



高松市三越屋上のハム公開実験

夏 32年 活躍する県下のアマチュア無線

さる七月十六日石川県奥能登を襲

った風水害でアマチュア無線のネ

ットワークが孤立した輪島市との

通信連絡に活躍し防没用のワクチ

ンを急送、気象時報を伝えて各方

面から感謝されたことは記憶にも

新しい。趣味を通じ結びあつた電

波が災害や危急時に篤い人命を救

う貴重な役割を果たすことは近く封

切られる映画「空と海の間」に

生々しい感動をもつて描かれてい

る。本県でも約三十のアマチュア

無線局が開局、国際的な交歓や國

内の友情を深めることに役立って

いるが、いまその活躍ぶりをのぞ

いてみよう。

正式にアマチュア無線一、二級技

師の免許状をもちコールブックに

のついている人は県下で三十六名、

全国組織をもつ日本アマチュア無

線連盟の一環として四国四県に四

國支部がおかれ、会長は三豊郡上

高野村、配電電波高校教諭、大家

政博氏でその下に四県クラブがあ

り県下の会長は高松市塩土町でラ

ジオ商を営む大田等氏、一年一回

四國支部の総会を開き各地の情報

を交換することにも中央からの連

絡事項を報告、県クラブでも昨年

までは毎月一回集つて親睦を深め

国境越え 友情交換

完全な道楽の一つ

戦後激増 すでに三十局も

線電電話実験局といつかめし
い認可を受けたときには四國にわ
ずか五局があつただけ。それも
全部本県にわたつた。その後、太
平洋戦争から戦後占領時代にかけて
アマチュア無線は徹底的な禁止措
置を受け、二十四年ようやく復活許
可された。このころ、メンバーは機械
いじりが飯より好きという連中は

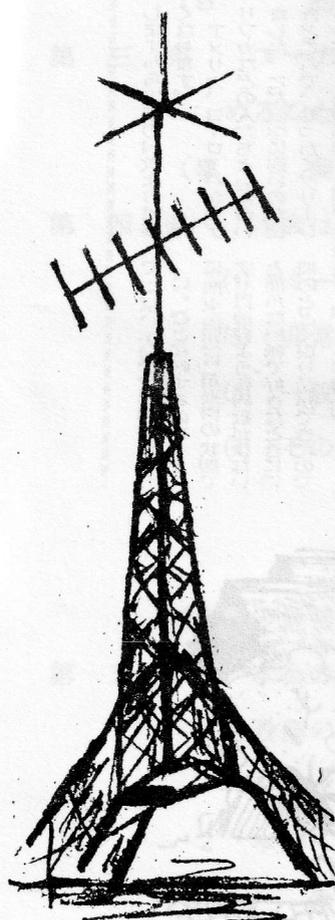
あり、あり合せの中古機械をたく
りもつれいらしい。声だけの友
みに活用して電波をたのしんでい
る。太田さんいわせるとアマチ
ュア無線は完全な道楽、全くもう
やがてアマ無線家だけが持つ特
権にはならないだけでなく経費が
かかるばかりというが、どの人も
電波がなくなれば「生き甲斐」が
ないという人だ。

無線技師の国家試験をうけて合格
すれば電波監理局からコールサイ
ンの指定を受けて開局するとい
た連中。二級には三・五メガ以上
八種の全周波を通じて電信電波を
活用出来るが、二級は八メガ以下
と五メガ以上という制限がつい
ている。

全国では約三千の開局を数え日本
は国際的にも普及率が高いといわ
れるが本県もそのとおり。
しかしまた婦人のアマチュアの無
線家は現われていない。小さな古
びた送受信器で国内各地はもちろ
ん遠く南米、ロンドン、パリなど
と交に連絡できるというのが何よ
り面白い。パイ事件が騒がれたころにはアマ



無線家の身辺にもそれとなく監視
の眼が注がれていたといふ。太田
さんは「無線をいじることだけで
政治的色彩があるまじに見られる
のが何よりつらい。私たちの本
当の道楽とはつきり別切ってい
る。自分の用件以外のことを話す
のは電波法で禁止されているが、
災害時や人命にかかわるときには
が強い。」
(写真はアマ無線の送受信機)

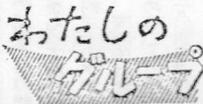


アマチュア無線 連盟香川クラブ

話す人 田中 実(さん)さん
(会長、本町、高松市坂上町二丁目)

なんでもインスタントの時代
ですな。この会ができた二十三
年ころは、古

いしオチから
部品をとって
する人があまりないですね。わ
ても、話



中学・高校生ふえる

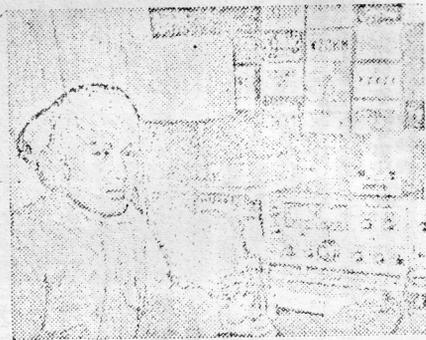
何もかも自分
の手で差受信
にたどりつく過程を大切にす
る。若い人たちは即決的な結果
を重視する——こんなところにも
世代の所産を感じます。

いまは全部セットされたもの
が、金さえ出せばすぐ手にはい
るのですから会員もふえるはず
です。県下で約八千人、中
学、高校生がふえているのも最
近の特徴です。

しかし本当の楽しみは機械の
性能をなんとか高めようとする
りすることにありたいと願います

しますから学校の同好者は多
くありません。
アメリカ、ヨーロッパからア
リフカなどの人たちがもって来
ました。たに話に強いのが流
きとて、せっかくなグリ
ランド、

アフリカ
などの珍
しい地域
と受信し
ても、話
て東京、大阪へ機械、つまの
「局」ごと移動するので、と
に門東局は、耐波機の状態
す。以前のように局数が少な
と簡単な機械で好きなときに電
波のとどく限り話ができるので

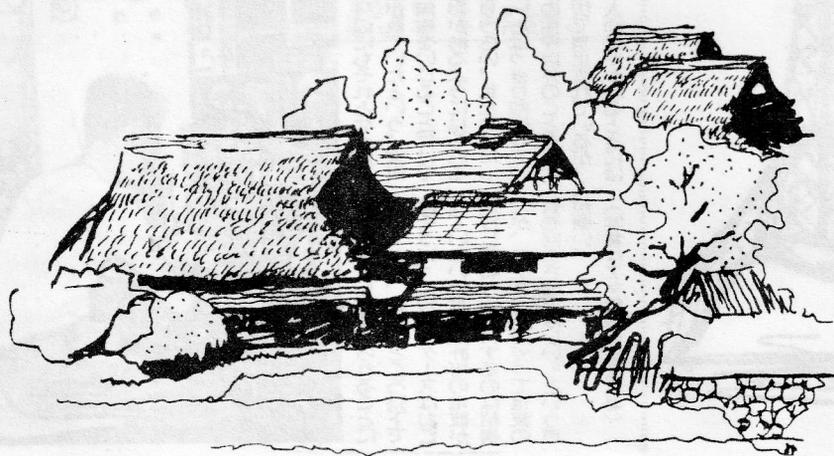


「CQ、CQ」と他局からの応答を待
つ田中さん(高松市坂上町の自宅で)

の内容は
相手の届
名や機械
の性能程
度によっ

れわれ年配のものは、ある結果
にたどりつく過程を大切にす
る。若い人たちは即決的な結果
を重視する——こんなところにも
世代の所産を感じます。
人によって海外との交信意
門にしたり、もっぱら国内に限
るなどさまざまですが、わたし
の場合には海外専門で、二百五十
力国といったところ。もともと
電波交信という「国」はたどえ
ばハワイでもひとつの国と協定
です。中、高校生は飛躍、進歩
競争なみになっています。

免許がとりやすくなつて局数
がふえるので、電波事情も活
相手に通じませんからね。話
中に聞かんで相手を横取りした
り、いやいや電波の世界も交通



J A R L 香川 クラブ 定款

第 一 章 総 則

(名 称)

第 一 条 本会は J A R L 香川 クラブ と称する。

(事 務 所)

第 二 条 本会は事務所を庶務担当理事宅内におく。

第 二 章 目的及び事業

(目 的)

第 三 条 アマチュア無線愛好者の親睦と技術の向上，一般への認識を深めることを主たる目的とする。

(事 業)

第 四 条 本会は前条の目的を達成するため，次の事業を行なう。

- (1) ミーティング
- (2) 会報の発行
- (3) 非常災害時の協力並びに訓練
- (4) 講習会
- (5) 一般への P R
- (6) アマチュア無線局の開設及び運用
- (7) その他

第 三 章 会 則

(会員の資格)

第 五 条 本会の会員はアマチュア無線従事者の資格を有し，クラブの無線設備の操作を行なうことができる者（以下甲という）及び甲以外のアマチュア無線に興味の有る者（以下乙という）とする。

2 本会に特別会員をおくことができる。

(入 会)

第 六 条 入会希望者は所定のカードに必要事項を記入し，入会金を添え

て申込むこと。

(入 会 金)

第 七 条 入会金は会費と同額とする。

(会 費)

第 八 条 会費は年額甲 1,000 円、乙 350 円とする。

但し新入会者は入会年度の会費を免除する。

2 同一住所にて 2 人以上が開局している場合の会費は 2 人目から半額にする。

(会員の資格の喪失)

第 九 条 会員は、次の事由によって資格を失う。

(1) 脱 退

(2) 死 亡

(3) 除 名

2 会員が脱退しようとするときは、届出なければならない。

(除 名)

第 十 条 次の各号の一に該当するものは、理事会の決議を経て除名することができる。

(1) 会費の未納が 6 ヶ月以上にわたる場合 (厳守)

(2) 会の秩序をみだす者

(3) 電波法令に違反した者

第 四 章 役員及び顧問

(役員の数及び選任)

第 十 一 条 本会に次の役員をおく。

会 長 1 名 副会長 1 名

理 事 若干名

2 役員は総会において会員中から選任する。

3 本会に名誉会長をおくことができる。

(会 長)

第十二条 会長は本会を代表する。

2 会長は本会の業務について掌理統括する。

3 会長は総会及び役員会を招集してその議長をつとめる。

(副 会 長)

第十三条 副会長は会長を補佐し、本会の業務を執行する。

2 副会長は会長に事故ある時は、その職務を代理し、会長欠員の時はその職務を行なう。

(理 事)

第十四条 理事は次の業務を分担する。

(1) 庶務 (2) 会計 (3) 企画 (4) 渉外 (5) 編集 (6) 技術
(7) 賞典

2 各業務の兼務はさまたげない。

(役員任期)

第十五条 役員任期は一年とする。

(監 査)

第十六条 監査業務は会員全員にて行ない、会計監査は総会出席者全員により行なう。そのため役員はおかない。

(顧 問)

第十七条 本会に顧問をおくことができる。

2 顧問は会長が役員会の審理を経て委嘱する。

3 顧問は本会の運営に関して、会長の諮問に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

第五章 会 議

(総 会)

第十八条 総会を分けて通常総会及び臨時総会とする。

- 2 通常総会は毎年三月に開催する。
- 3 臨時総会は次の各号の一に該当する時に開催する。
 - (1) 役員会が必要と認めたとき。
 - (2) 全会員の二分の一以上から会議の目的とする事項及び理由を記載した書面をもって要求があった時。

(総会の招集)

第十九条 会長は総会を招集するときは、会議の日から10日前に日時・場所及び会議の目的を示した書面をもって会員に通知しなければならない。

(総会の附議事項)

第二十条 総会に附議する事項は本定款において別に定めるものの外、次のとおりとする。

- (1) 事業計画及び収支決算
- (2) 業務報告
- (3) 定款の変更
- (4) 重要なる財産の取得及び処分
- (5) 会費に関する事項
- (6) 解 散
- (7) その他の重要な事項

(決議方法)

第二十一条 総会は会員の三分の一以上の出席（委任状を含む）がなければ議事を開くことができない。

- 2 総会の決議は出席会員の過半数をもって行ない、可否同数のと

きは議長が決定する。

3 定款の変更及び解散の決議は、前項の規定にかかわらず、出席会員の四分の三以上をもって議決しなければならない。

4 議決権の行使を委任した会員は本条の適用については出席したものとみなす。

(議 決 権)

第二十二條 本会の議決権は甲、乙ともに有する。

(議 事 録)

第二十三條 会議の議事録は議長及び総会の指名した署名人が署名捺印しなければならない。

(役 員 会)

第二十四條 役員会は役員により構成され、緊急事項及び総会、ミーティングの委託された議題を討議決定する。

2 役員会は役員の二分の一以上の出席がなければ議事を開くことができない。

3 役員会の決議は出席役員の過半数をもって議決する。
可否同数のときは議長が決定する。

第 六 章 資 産 及 び 会 計

(資 産)

第二十五條 本会の資産は設立当初の寄附財産・会費・寄附金及びその他の収入からなる。

2 本会の資産の管理及び運用は役員会の決議を経て会計責任者が行なう。

(予 算)

第二十六條 毎事業年度の予算は当該年度開始前役員会において作成し、通常総会の承認を受けなければならない。

(経 費)

第二十七条 本会の経費は、会費、寄附金及びその他の収入によりまかなう。

(旅 費)

第二十八条 旅費は会長が認めた出張に対して交通費の半額を支給する。旅費は経費よりまかなう。但し人員は役員数内とする。

(会 計 年 度)

第二十九条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

第七 章 補 則 及 び 付 則

(補 則)

第三十条 本定款に必要な規則は役員会が定める。

第三十一条 本定款は昭和42年3月5日より実施する。

1. 昭和44年3月2日 改正

1. 昭和46年3月7日 改正

1. 昭和48年3月4日 改正

アワード規約

J A R L 香川クラブ発行 (JA5YDE)

賞典係 JA5MG 稲毛 章

SETO 賞 (SETONAIKAI 賞)

条件： 香川・愛媛・山口・広島・岡山・兵庫の6県のQSLのラストレターで「SETONAIKAI」とする。10枚のQSLには6県全部含むこと。

- ① SWLにも発行する。
- ② シングルバンド，シングルモードは特記する。

申請方法，申請先は WAO-MMに同じ。GCRには県名も記入のこと。

WAO-MM 賞 (Worked All Ocean 賞)

条件： 海上移動局 (……/MM局) のQSLを6枚得る。

海上移動局とは，主に船舶乗組員が運用する局をいう。

港に停泊中のMM局，南極，北極の局も可。但し，連絡船上などからトランシーバーで運用したようなものは認めない。

- ① SWLにも発行する。
- ② 6枚のQSLが各々異なる海域である場合は特記する。
- ③ シングルバンド，シングルモードも特記する。

申請方法： GCR+300円+自局QSL1枚
(海外局は8IRC)

GCRには，WAO-MMの場合はMM局のQTHを記入のこと。

SETO " 県名を記入のこと。

申請先： 761-24 香川県綾歌郡綾歌町

稲毛 章 (JA5MG)

○ アワードは申請受付日より5日以内に発行します。

アワード発行状況

(1) エリヤ別

アワード エリヤ	S E T O 賞		W A O / M M 賞	
	発行数	エリヤ№1	発行数	エリヤ№1
J A 1	103	J A 1 P O E	106	J A 1 O U B
〃 2	77	J A 2 C Z B	53	J A 2 - 1 7 6 2
〃 3	197	J A 3 E L U	83	J A 3 C E D
〃 4	122	J A 4 D J M	41	J A 4 X W
〃 5	86	J A 5 B N Z	23	J A 5 M G
〃 6	59	J A 6 B H Y	40	J A 6 C E Q
〃 7	54	J A 7 T I	49	J A 7 T I
〃 8	80	J A 8 E J B	59	J A 8 Q X
〃 9	22	J A 9 B X W	8	J A 9 C A F
〃 〰	14	J A 〰 - 2 2 2 6	12	J A 〰 B F O
D X	5	S M 5 B N X	17	H M 1 A P
合計	819		491	

(2) 年度別

年度 アワード	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	(53)
S E T O 賞	25	42	29	28	39	58	67	74	178	120	82	83
W A O 賞	5	25	23	34	39	47	57	48	70	64	54	29
(計)	30	67	52	62	78	105	124	122	248	184	136	112

JARL香川クラブ 会員名簿

CALL	Q R A	〒NO	Q T H
JA5AA	久米正雄	761-21	
" AB	田中実	760	
" AF	大塚政量	769-15	
" AG	太田等	761-03	
" AP	川西太郎	760	
" CH	能祖嘉吉	760	
" CM	村田吉弘	761	
" DB	土居憲吉	761	
" FI	松平樹憲	760	
" LI	森井須美雄	761	
" MG	稲毛章	761-24	
" MY	橋本紀一	761	
" OA	奥野学	761-03	
" OW	前田耕司	761-12	
" QJ	市原普	760	
" SD	川西捷平	760	
" UY	長尾浩孝	761-21	
" VP	宮川晴夫	769-01	
" VV	青木寛	760	
" WG	藤村義広	769-01	
" XG	樫原貞男	761	
" YX	瀬尾幸男	760-03	
" AHC	藤井昭生	761-01	
" AHM	天野英弘	760	
" BBR	土岐正行	760	
" BGE	防越文典	769-12	
" BQL	板坂国夫	769-29	
" BRT	原田剛	761	

C A L L	Q R A	〒 N O	出 発 日 時 分 秒
J A 5 C A D	小 川 好 清	761-24	
// C O Z	平 尾 二三男	761-21	
// C S R	湯 谷 憲 智	761	
// D B J	田 村 正 道	761	
// D L M	朝 倉 次 郎	760	
// E M M	苧 側 正 明	761-24	
// G O U	平 田 博 文	761	
// G V Z	山 田 行 夫	761-03	
// I K J	青 木 俊 士	761-00	
// I Q D	越 智 繁 彬	761-21	
// I Q P	合 田 口 正 春	761-17	
// I R P	人 見 和 郎	761-17	
// J A M	有 友 啓 介	760	
// J D U	平 尾 猛	761-13	
// J H T	丸 井 尉 史	761-01	
// J K B	天 雲 正 博	761-17	
// J W C	松 元 充 法	761	
// K W F	清 川 隆 美	761-01	
// M I K	新 名 等	762	
// M M X	田 村 耕 治	760	
// M N J	熊 野 道 雄	761	
// M N Y	竹 仲 善 孝	761	
// N B H	中 崎 巖	761-04	
// N O B	渡 辺 孝	760	
// N O C	政 岡 平	760	
// N V G	甲 野 雅 一	760	
// O D L	小 郷 修	760	
// O M Q	森 塚 薫	760	
// O M W	佐 藤 融 男	761	

CALL	Q R A	〒NO	Q T H
J A 5 O R B	倉 知 千 蔵	761-04	
〃 P I O	小 林 武 雄	760	
〃 P N I	星野尾 力	761-04	
〃 P N V	堀 井 俊 考	769-24	
〃 P V F	奴 賀 啓 三	761	
〃 P Z G	青 井 玉 水	761-04	
〃 P Z L	高 畑 康 男	761	
〃 Q P M	黒 田 学	760	
〃 R A A	セトグチ		
〃 R Y G	石 川 茂 男	761-01	
〃 R Y O	森 幸 資	769-12	
〃 R Y Y	多 田 克 之	761-09	
〃 S R W	江 郷 義 三	769-01	
〃 T O P	平 賀 正 明	761	
〃 U S V	松 田 信 夫	761	
〃 X N Y	辻 利 昭	761-16	

(家族会員)

J A 5 B C S	田 村 ヒロ子	761	
〃 C B F	天 野 己代子	760	
〃 C S S	稲 毛 キミ子	761-24	
〃 D O W	板 坂 麻 子	769-29	
〃 D P C	樫 原 貞 子	761	
〃 D Z M	長 尾 和 子	761-21	
〃 K E M	越 智 幸 子	761-21	
〃 O I F	青 木 アサエ	761	
〃 O Z Q	樫 原 一 宏	761	
〃 R G V	小 林 昌 代	760	
〃 X M T	青 木 良 治	760	

編集後記

記念クラブ報 №180号 クラブ創立 30周年記念号を、お届け出来る事を皆様方共々お喜び申し上げます。

編集者の一員として次号こそは素晴らしい編集をと思いながら、仕事が忙しい、ひまがない、原稿が集らないと自分の腕を棚に上げてぶつぶつ云いながらマンネリを打破出来ずにいる、今日此頃です。Hi

クラブ報も回を重ねて 180号、これも役員を始め会員の皆様方の努力の積み重ねと編集者の一員として厚く御礼申し上げます。

今後、益々の発展を祈り乍ら。

(JA5IRP記)

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報 №180

創立30周年記念号

発行責任者	JA5MG	稲毛	章
編集者	JA5IKJ	青木	俊士
〃	JA5IRP	人見	和郎
〃	JA5NBH	中崎	巖

連絡事務所 761-01 高松市高松町

清川 隆美 (JA5KWF)

